

新型コロナウイルス ワクチン 接種について

公正会

沢田 広志

問 ワクチンの優先接種として65歳以上の高齢者施設入所者や一般高齢者から順次始まり7月末をめどに高齢者接種完了を目指して

おり、その後、基礎疾患のある方や64歳以下の市民へと令和4年2月末まで接種が行われますが、接種対象者数並びに接種率と1日の接種数の状況について伺います。

答 接種対象者数は、5月31日より16歳以上から12歳以上の方に対象が拡大され、3月31日時点で約1万5千400人が対象です。接種率は、6月11日現在で約17%となり、1日の接種数は、ふれあいセンターを会場とする集団接種で、平日の午前は市立病院スタッフによる90人、午後は市内開業医スタッフによる90人へ接種、6月21日からは接種体制を強化し、市立病院スタッフを倍増する派遣を受け、午前の接種人数を2倍の180人とする予定です。6月26日から8月7日までの土曜日には、市立病院を会場とする接種日も設け、1日

180人から360人へ接種を行う予定です。

問 キャンセル待ち接種の登録者数並びに接種の状況について伺います。

答 6月9日時点で37名の登録があり、既に23名が1回目の接種を終えており、また、ワクチン接種の事務に携わる職員など、キャンセル待ち登録を進めています。



ほかに、「ごみ収集ボックス分別表看板について、①市内ごみ収集ボックス設置箇所数について、②老朽化した分別表看板の取り換え対応について」質問しました。

新型コロナウイルス 感染症の対策等について

公明党

辻 勲

問 ワクチン接種の促進を中心今後の対応と対策について伺います。

答 市の対策本部の会議においては、北海道における措置区域への緊急事態措置に基づき、情報共有を図るとともに、公共施設の休止などの取扱い、市主催行事などについて、市ホームページ等での市民への周知を協議しています。

高齢者のワクチン接種は、電話申込みの混雑を避けるために、年齢の高い順から予約案内開始をお知らせするハガキを郵送し、予約を受付しています。今年度65歳となる高齢者施設等入所者を除く6千63名の方への予約案内開始ハガキの郵送を6月9日に終えたところであり、6月10日現在、約8割の方からの予約を受付しています。高齢者のワクチン供給については確保の目途が立っていることから、現在の予約率である約8割程度の予約となった場合、7月末までに、おおむね2回接種を終了す

ると見込んでいます。

問 接種体制についての空知医師会との協議の状況及びワクチン用冷凍庫に問題が発生した場合の対応について伺います。

答 空知医師会砂川部会と早くから接種体制について協議を行い、日程を組んでいます。また、接種枠の大幅な増加にあたっては、積極的に接種を進めていく判断をいただき7月末までの目処が立っています。ワクチン用冷凍庫に問題が発生した場合には、非常用バッテリーや蓄冷剤によってワクチンを無駄にしない対応をしていきます。



学童保育の保育料に係る軽減措置について

創生会

多比良和伸

問 昨今のコロナ情勢や少子化において、子育て支援の観点から、他の保育料の軽減措置と同様に多子世帯やひとり親世帯に対する減免措置を学童保育においても実施することが出来ないか伺います。

答 当市の学童保育料は通常保育でおよつ代2千500円を含み9千円と定めており、他の自治体とは運営形態が異なりますが、充実した保育内容で行っています。

多子世帯及び、ひとり親世帯等に対する減免措置は、近隣他市で導入している例があることから、砂川市も減免制度の検討を進めていきたいと考えています。

問 具体的な実施時期を含め市長の考えを伺います。

答 ここ数年で他市が減免に動いた状況もあり、砂川市においても保育料と学童保育料の料金に対する考え方の整合性を図るため、本年度4月1日に遡って減免措置を実施したいと考えています。

コロナ禍における経済対策について

問 コロナ禍の影響により市内経済には大きな影響が出ています。市は現状をどのように捉え対策しようとしているのか伺います。

答 人々の往来が減少し、市内経済は深刻な影響を受けていると認識しています。そこで、現在行っている経営持続化給付金の支給基準の見直しと、新たな経済対策を次の市議会臨時会で告示したいと考えています。



ほかに、「子育て支援住宅の設置について」質問しました。

砂川駅前地区整備について

市民の声

小黒 弘

問 中心市街地の賑わいを創出させるために建設予定の施設は基本設計が発注されています。建設される建物は市の行政財産になりますが、そこに商工会議所や観光協会が入る場合、使用料は発生するのか伺います。

答 商工会議所・観光協会の事務所貸付の対価として一定程度の費用負担は必要です。具体的な費用負担等の内容はそれぞれの団体と調整を図っていきますが、商工会議所・観光協会には本年9月末までに意思表示を頂きたいと伝えています。

問 今後も近隣の金融機関との話し合いは続けるべきだと思いますが、その考えについて伺います。

答 北海道銀行及び北洋銀行とは、一体的な建設の可能性について協議を行ってきましたが、経済合理性の観点から難しいと回答がありました。今後については、両行から施設の具体的な運営方法など情報があれば、協力できることは協

力したいという回答を頂いています。

問 施設の管理・運営団体を作るための方向性について伺います。

答 施設の管理・運営については指定管理者制度を活用した公設民営方式での検討を進めています。商工会議所・観光協会を指定管理者として想定し協議を行っていきますので、今後は運営面についても、関係団体や市民などから広く意見をお聞きしながら検討をしていきます。



駅前開発の場所

ほかに、「市役所1階の窓口業務について」質問しました。